



河之内の偉人、近藤林内にちなんで命名 3体目のしめ縄龍 " 林内龍 " 誕生

惣河内神社佐伯宮司の「龍を使った地域おこしがしたい」という提案から、令和5年に河之内地区で始まったしめ縄龍づくり。12月13日㊤に3体目が完成し、地域の皆さんが河之内公民館から担いで各地を歩いた後、同神社に奉納されました。制作責任者の浅野和雄さんは、「今年の龍は、非常に立派に仕上がりました。今後は、古い一体を作り替え、3体の龍を維持していきます」と未来に向けて意気込みを語りました。

スポーツを楽しむのに年齢は関係なし ワンバウンドバレーボール県大会で勝利

広報とうおん 令和6年8月号の「輝け!! My TEAM」で紹介した川内ひまわりが、11月15日㊤に開催された県大会Bリーグで優勝に輝きました。監督の加藤信久さんは、「練習の甲斐あってチームの強さを発揮でき、楽しい雰囲気でした」と笑顔を見せました。現在、部員を募集中（対象：65歳以上）ですので、お気軽にご連絡ください。☎加藤監督 ☎090-1006-3702



勝利の秘訣は全力で楽しむこと 県大会で2年連続優勝に輝く

小学生ドッジボールチーム、北吉井ボンバーズが、12月7日㊤に開催された愛媛新聞社杯第34回県ドッジボール大会で昨年に引き続き優勝に輝きました。小学5年生でキャプテンの平田連さんは、「みんなで試合を楽しんで、誰かがボールを取ったり当てたりする度に全力で喜び合いました。次は全国大会予選に勝って、決勝トーナメントに進みたいです」と笑顔を見せました。

今にも動き出しそうな白馬が境内に 東温高等学校美術部が伝統の大絵馬奉納

部員たちが放課後に集まり、約2週間かけて完成させた31作目となる大絵馬が、12月30日㊤に、水天宮へ奉納されました。

部長の永山希さん(写真左側前列)は、「馬が飛び出す動きを研究し、毛並みや筋肉、陰影に何度も手を加え、走り出す寸前の一瞬を表現しました。絵馬を見て、前向きな気持ちで一年を過ごしてもらえたら嬉しいです」と笑顔を見せました。



体操と餅つきで身体はばかばか 餅つきで広がる地域の笑顔

12月18日㊤に、ウェルケア重信で餅つき大会が開催され、施設利用者や婦人会、新村サロン、ボランティアのハッピーサポーターなどが参加しました。「よいしょ!」という元気な掛け声が響く中、餅つきが行われたほか、ウェルケア重信が制作し、音健アワード2025で最優秀賞に輝いた「ぐいんぐいん体操」で身体を動かすなどして、楽しく交流を深めました。

笑いあり、迫力あり、場外乱闘あり クリスマス会でプロレス観戦

12月15日㊤、重信更生園で開催された社会福祉法人いしづち会のクリスマス会に、「プロレスで愛媛を元気に」を掲げて活動する愛媛プロレスがやって来ました。プロレスラーがリングの外に飛び出したり、高いところから飛び降りたりと、迫力満点の試合に会場は大盛り上がり。試合後は楽器演奏を通して、プロレスラーやいしづち会の施設利用者、地域の皆さんで心温まる時間を過ごしました。



移住したいまちで " 未来の誰か " と出会う旅 移住体験「恋するとうおん」

11月29日㊤、30日㊤に市移住体験プログラムが実施されました。対象は、市内への移住を考える独身女性10人。白猪の滝など市内の名所を巡る体験や、モルック、リース作りなどを通じて、市内独身男性との交流が行われました。リース作りでは、市内産の植物を使いながら、2人1組のペアが協力して制作。参加者同士で仲を深め、東温市を満喫していました。

税について考える力が全国へ

税についての作文で国税庁長官賞を受賞

12月11日㊦に、川内中学校で表彰式が開催され、3年生の柿坂千咲子さんが、国税庁長官賞を受賞しました。受賞作「税に育てられたわたしたち」は、身近な教科書から税の使われ方に興味を持ち、普段の学習が税で支えられていることを考えた内容です。柿坂さんは、「税は、誰かの役に立つために使われていることを知りました。誰かを支える意識を持って、税を納められる大人になりたいです」と話してくれました。



税を身近に考える力を評価されました

税についての作文で県知事賞、市長賞を受賞

11月18日㊦に、重信中学校で表彰式が開催され、3年生の入野真輝さん（写真右から2番目）が県知事賞、同学年の清水瑛斗さん（写真左から2番目）が市長賞を受賞しました。入野さんは、「作文を書く中で、税と生活の結びつきを感じました」と、清水さんは、買い物から消費税について考え、「税によって医療や教育の分野で、自分も恩恵を受けていることに気がきました」と振り返っていました。

細やかな観察力と表現力が光る

トンボ×原爆ドームで大臣賞受賞

全国から4,899点の応募があった第40回WE LOVE トンボ絵画コンクールさえの中学生の部で、重信中学校2年生の福本沙恵さんが、最高賞の文部科学大臣賞を受賞しました。同賞の受賞は2度目です。「戦後80年のニュースを見て、これから生きる一人としてこの題材を描きたいと思い、3年前に原爆ドームへ行ったときのことを思い返しながら描きました」と思いを込めて語りました。



誰もが尊重される社会を願って

人権作文・メッセージコンテスト優秀賞を受賞

12月6日㊦に、県人権擁護委員連合会と松山地方方法務局が主催する人権作文・メッセージコンテスト表彰式が中央公民館で開催され、重信中学校1年生の石川花音さんと、3年生の渡部友萌香さんが優秀賞を受賞しました。石川さんは作文を朗読し、「社会にある段差を見ようとする目と、気付こうとする心があれば、きっと社会は優しくなっていく。私はその一歩を踏み出せる人間になりたい」と語りました。

県代表でノミネート

坂本自然農場 穂田琉が全国金賞

12月6日㊦、7日㊦に茨城県で開催された「第27回米・食味分析鑑定コンクール国際大会」で、5,070点の中から、河之内の棚田で育ったひめの凜が最高賞の金賞を受賞。穂田琉代表の坂本憲俊さん（写真右から2番目）は、「今年は収穫量、品質、見た目の全てにおいて良い米ができました。令和2年、3年の金賞と4年の特別優秀賞に続き、4度目の受賞を果たすことができ嬉しいです」と笑顔を見せました。



地域農業の発展に大きく貢献

農業委員会等農林水産大臣表彰

長年にわたる活動の功績が高く評価され、農林水産大臣表彰を受賞した市農業委員会会長の渡部光右衛門さんが、12月18日㊦に市長を表敬訪問し、受賞の喜びを報告しました。渡部さんは、20年にわたり農地利用の適正化に取り組まれるとともに、10年にわたり農業委員会会長としても精励され、今回の受賞となりました。市の農業振興のため、今後ますますのご活躍が期待されます。

地域の青少年を見守り続けて

多年にわたる活動に県知事感謝状

11月21日㊦に、松山市青少年センターで開催された県少年補導委員研修大会において、青少年の健全育成に努めた功績を讃え、和田豊さんに県知事感謝状が贈呈されました。和田さんは、市青少年補導委員として12年以上活動を続け、街頭補導活動などに熱心に取り組まれています。

青少年健全育成の推進役として、今後ますますのご活躍が期待されます。



より楽に、便利に、スムーズに

書かないワンストップ窓口、始動

来庁者の負担軽減と手続の時間短縮を目指し、1月5日㊦に市役所1階をリニューアルしました。

来庁者は原則署名のみで証明書発行手続ができるようになったほか、1月22日㊦からは、児童手当、子ども医療、小・中学校の転校等の手続がワンストップでできるようになるなど、ますます利便性が高まっています。